

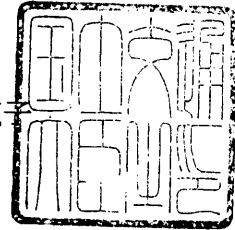


# 認 定 書

国住指第394号  
平成14年2月4日

山陽ボード株式会社  
代表取締役 渡辺 了 様

国土交通大臣 林 寛子



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第68条の26第1項（同法88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第2条第七号及び同法施行令第107条第一号及び第三号（屋根：各30分間）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
FP030RF-9174
2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称  
ロックウール板・木毛セメント板重裏張／金属板屋根
3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容  
別添の通り

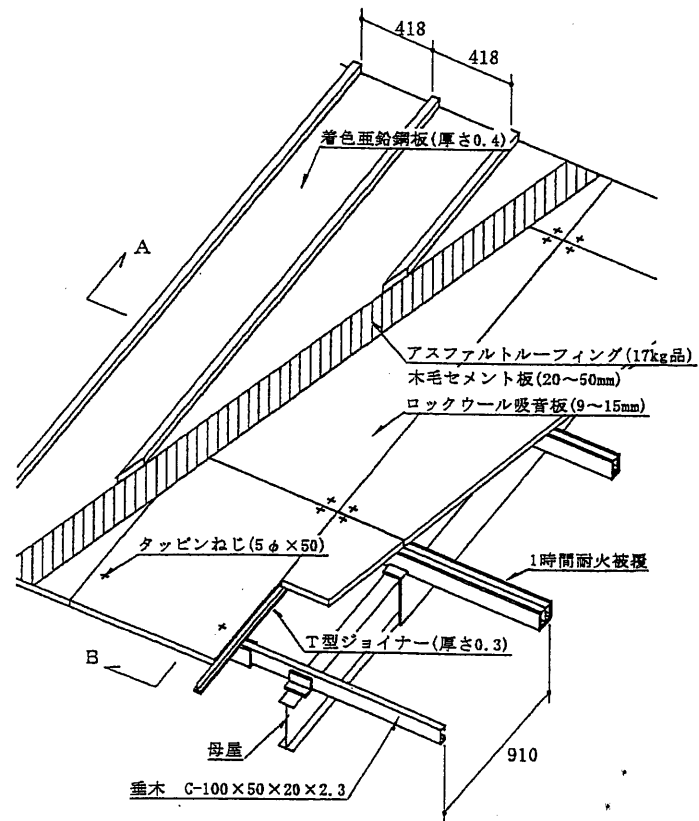
6.1 仕様の概要

FP030RF-9174

仕様の概要	構造材料等の説明書	指定番号	<del>R-0264</del>
	標準仕様書	指定年月日	<del>平成6年9月12日</del>

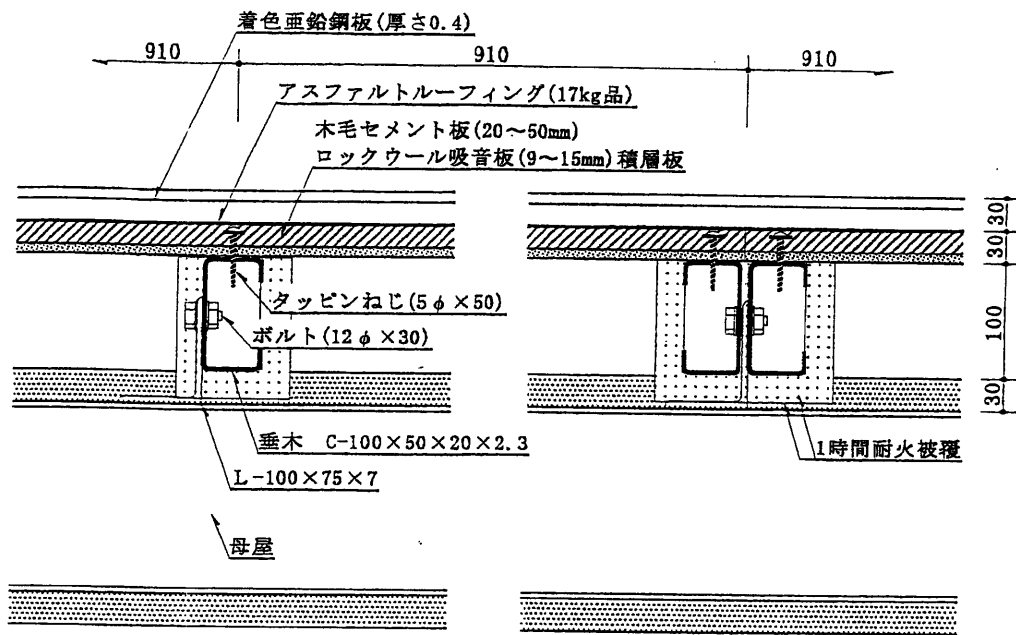
品目名  (商品名)	木毛セメント板 (20mm~50mm) ・ロックウール吸音板 (9mm~15mm) 積層板野地板 金属板 (0.4mm) 葺屋根  (ウールツウイン)	申請者名 平成14年2月14日 山陽ボード株式会社 広島県福山市松永町3-6-21 TEL 0849-33-5331 工場名 山陽ボード株式会社 清音工場 岡山県都窪郡清音村軽部1413-1 TEL 0866-94-0116 日化ボード株式会社 福島県双葉郡浪江町北幾世橋字北原16 TEL 0240-35-2546 興亜不燃板工業株式会社 千葉県長生郡長柄町山根1985-1 TEL 0475-35-5000 株式会社北日本ダイエイ 北海道夕張市南部遠幌町6 TEL 0123-55-2821
------------------	--	--

- 1. 部分、耐火性能の区分      屋根30分耐火
- 2. 試験機関名                      (財) 日本建築総合試験所 受託番号IVD-93-190
- 3. 構造説明図 (単位mm)

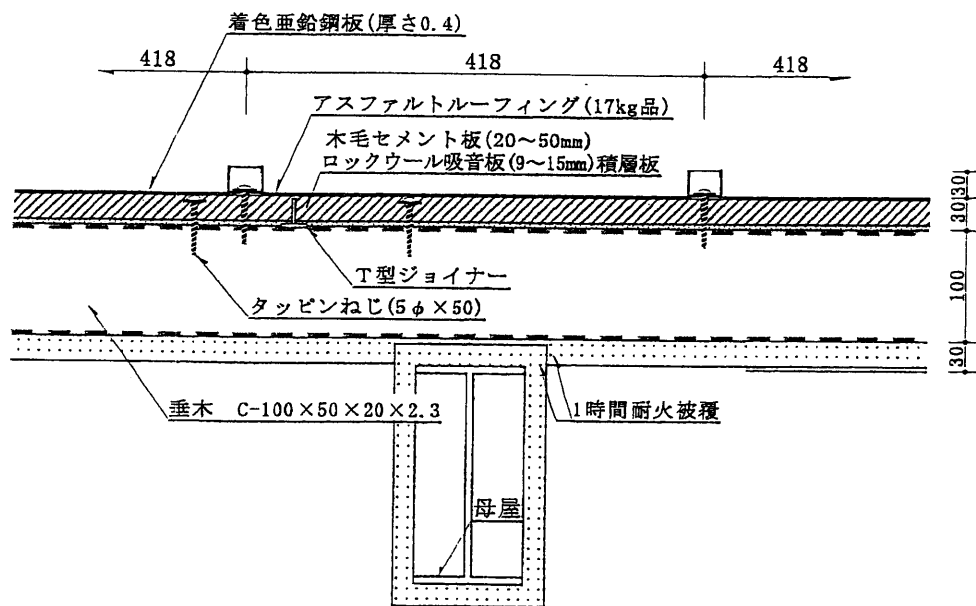


見取図

断面詳細図



A 断面詳細図



B 断面詳細図

4. 材料等説明

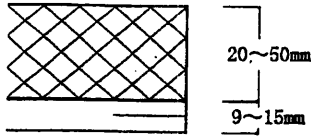
4-1 主構成材料

① 野地材料

①-1 組成

- イ) 木毛セメント板 (準不燃第2031号) (20mm~50mm)
- ロ) ロックウール吸音板 (不燃第1021号) (9mm~15mm)
- ハ) 接着剤 ポリマーセメントペースト 1.2kg/m<sup>2</sup>

①-2



ウールツウイン (普通)

木毛セメント板		ロックウール吸音板		製品厚さ (mm)	製品重量 および許容差 (kg/枚)	製品の大きさ および許容差 (mm)	曲げ強度 (N/mm <sup>2</sup> )	含水率 (%)
厚さ (mm)	比重	厚さ (mm)	比重					
20	0.6±0.1	9	0.4±0.1	30±1.5	26±2.0	455×1820 910×1820 (±1.5)	1.00以上	15%以下 (工場出荷時)
		12		33±1.5	28±2.0		0.95以上	
		15		36±1.5	30±2.0		0.90以上	
25		9		35±1.5	28±2.5		0.95以上	
		12		38±1.5	30±2.5		0.90以上	
		15		41±1.5	32±2.5		0.85以上	
30		9		40±1.5	32±2.5		0.90以上	
		12		43±1.5	34±2.5		0.85以上	
		15		46±1.5	36±2.5		0.80以上	
40		9		50±1.5	40±4.0		0.85以上	
		12		53±1.5	42±4.0		0.80以上	
		15		56±1.5	44±4.0		0.75以上	
50	9	60±1.5	48±5.0	0.80以上				
	12	63±1.5	50±5.0	0.75以上				
	15	66±1.5	52±5.0	0.70以上				

ウールツウイン (高圧)

木毛セメント板		ロックウール吸音板		製品厚さ (mm)	製品重量 および許容差 (kg/枚)	製品の大きさ および許容差 (mm)	曲げ強度 (N/mm <sup>2</sup> )	含水率 (%)
厚さ (mm)	比重	厚さ (mm)	比重					
20	0.9以上	9	0.4±0.1	30±1.5	39±4.0	455×1820 910×1820 (±1.5)	1.50以上	15%以下 (工場出荷時)
		12		33±1.5	41±4.0		1.50以上	
		15		36±1.5	43±4.0		1.50以上	
25		9		35±1.5	46±5.0		1.50以上	
		12		38±1.5	48±5.0		1.50以上	
		15		41±1.5	50±5.0		1.50以上	

② 垂木 軽量形鋼 C-100×50×20×2.3mm 以上 JIS G 3350

③ 屋根葺材料

- |               |          |           |
|---------------|----------|-----------|
| 金属板           |          |           |
| 着色亜鉛鉄板        | 不燃第1041号 | 厚さ0.4mm以上 |
| 塩化ビニル樹脂金属、積層板 | 不燃第1001号 | 厚さ0.4mm以上 |
| 化粧ステンレス鋼板     | 不燃第1006号 | 厚さ0.4mm以上 |
| 銅板            | 不燃第1121号 | 厚さ0.4mm以上 |
| 無機質断熱材貼り金属板   | 不燃第1131号 | 厚さ0.4mm以上 |

- |          |          |           |
|----------|----------|-----------|
| 石綿スレート   |          |           |
| 石綿スレート   | 不燃第1001号 | 厚さ6.0mm以上 |
| 化粧石綿スレート | 不燃第1002号 | 厚さ6.0mm以上 |

④ 防水材料 アスファルトルーフィング 17kg品以上

4-2 副構成材料

- ① タッピングねじ 5φ×50~80mm (JIS B 1115)
- ② 垂木 取付金具 L-100×75×7mm
- 垂木 取付ボルト 12φ×30mm
- ③ T型ジョイナー 亜鉛引鉄板製 (厚さ0.3mm以上)
- L=1820 指定寸法±2mm以内

5. 標準施工仕様

1) 工場加工

木毛セメント板 (20~50mm) にロックウール (9mm~15mm) をポリマーセメントペーストにて貼り合わせる。

2) 現場施工

① 下地

- イ) 垂木取付金物 (L-100×75×7mm) をたる木間隔が910mm以下になる様に母屋へ電気溶接で取り付ける。
- ロ) 垂木 (C-100×50×20×2.3mm) を垂木取付ボルト (12φ×30mm) を使用し垂木取付金物へ取り付ける。
- ハ) 垂木、母屋は1時間耐火被覆 (ケイ酸カルシウム板厚さ25mm等) を施す。但し、昭和39年建設省告示第1675号第3、5、ハの規定に該当する場合には、耐火被覆をしなくてもよい。

② 野地板の取り付け

- イ) ウールツウインを垂木の上へ所定の位置に敷並べる。
- ロ) T型ジョイナーを垂木と直角方向の目地に挿入し、垂木と平行方向の目地は突付けとする。
- ハ) ウールツウインをウールツウインの端部より約100mm内側へタッピングねじ (5φ×50~80mm) にて垂木に留め付ける。

③ 屋根葺

- イ) アスファルトルーフィング (17kg品以上) を敷き防水する。
- ロ) 屋根葺材は、金属板、又は石綿スレートとする。

6. 施工管理

施工は山陽ボード株式会社の責任施工、又は山陽ボード株式会社が責任を持って「標準施工技術指導書」及び「検査要領書」に基づき施工者を指導する。

7. 留意事項

- 1) 保管場所は施工現場に近い屋内の安全な場所を原則とする。
- 2) やむをえず屋外に保管する場合は、地面に直接置かず必ずパレット等にて水平面をつくり、その上に積み重ね雨水の浸入を防ぐ為充分なおおいをする事。
- 3) 積み重ねる高さは原則として2m以下とする。

8. 付帯条件 なし

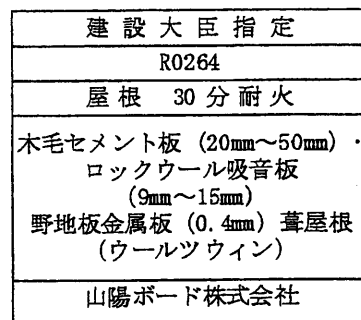
9. 表示及び報告

1) 製品及びその包装には右図の表示マークを方法で表示する。

- 2) 現場施工完了後に見え隠れとなる部分には出来るだけ点検可能な部分に指定マークを貼り付する。
- 3) 表面仕上げにより点検できない部分には仕上げの表面に指定マークを貼り付する。
- 4) 現場施工完了後に見え掛かりとなる部分には各室、又はこれに準ずる用途別区分毎に見えやすい位置2ヶ所以上に指定マークを貼る付する。

5) 毎年度、本製品の生産実績、使用実績 (又は販売実績) 工場における品質管理 現状及び施工管理状況 (検査報告書も含む) などを当該年度終了後、30日以内 (4月1日~4月30日迄) に建設大臣に報告する。

貼り付け又は、押印その他の



← 5~10cm →

↑ 5~10cm ↓